

グローバルコミュニケーション専攻（課程レベル）アセスメント・ポリシー

2026年度生以降

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	日本語教育、翻訳通訳、TESOLのいずれかの分野において、体系的知識を習得し活用することができる。
DP2	言語、言語教育、翻訳・通訳に関する研究方法を理解し、日本語教育、翻訳通訳、TESOLのいずれかを軸に、国際的かつ学際的視野に基づく研究方法によって、自ら設定した課題について探究することができる。
DP3	グローバル社会におけるより良き社会のあり方と発展を考察するとともに、国際社会とその動向に目を向け、自文化と他文化に係る深い理解に基づく視点を持って専門的な知を追究することができる。
DP4	専門とする分野の必要に応じて、修得した高度な語学力を十分に発揮できるとともに、社会の様々な場面において、高度な異文化理解能力とコミュニケーション能力を発揮し、課題解決に貢献することができる。

2. アセスメント・ポリシー/アセスメント・プラン

#	アセスメント・ポリシー (アセスメント項目)	アセスメント・プラン (アセスメント方法)	対応するDP								責任主体	備考	
			DP1	DP2	DP3	DP4							
共通基礎アセスメント項目													
1	GPA	年間GPA分布と通算GPA分布を集計し、平均GPAと通算GPA2.0以上の学生の比率につきアセスメントを行う。	◎	○								研究科執行部	
2	成績評価	成績分布と単位修得率を集計し、アセスメントを行う。	◎	○								研究科執行部	
3	在学生調査	在学生意識調査の調査回答率と各設問の回答結果を集計し、成長実感等につきアセスメントを行い、退学率と休学率についても検証する。		○	◎	○						研究科執行部	
4	海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等	各海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等の参加者数と参加率を集計し、アセスメントを行う。			◎	○						研究科執行部	
5	地域活動	各地域活動等の参加者数と参加率を集計し、アセスメントを行う。			◎	○						研究科執行部	
7	検定/資格（外部語学検定試験含む）等	各種検定・資格の受験者数、合格率、得点分布を集計し、アセスメントを行う。	◎			○						研究科執行部	
8	学位授与	学位授与数と学位授与率を集計し、アセスメントを行う。	○	◎		○						研究科執行部	
9	修了後の進路	就職内定率と就職率を集計し、アセスメントを行う。			○	◎						研究科執行部	
10	修了時調査	修了時調査の調査回答率と各設問の回答結果を集計し、総合満足度と成長実感につきアセスメントを行う。			○	◎						研究科執行部	
論文作成過程アセスメント項目													
11	研究計画書	研究テーマの適切さ、計画の遂行可能性、計画書の適切さについて主指導教員を中心に評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員がアセスメントを行う。
12	課題研究計画書	課題研究テーマの適切さ、計画の遂行可能性、計画書の適切さについて主指導教員を中心に評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員がアセスメントを行う。
13	論文作成計画発表	研究テーマの独創性、先行研究の適切な調査と位置づけ、研究目的に合致した研究方法、課題の妥当性を評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
14	課題研究計画発表	課題研究テーマの独創性、先行研究の適切な調査と位置づけ、研究目的に合致した研究方法、課題の妥当性を評価する。☒	◎	○									
15	研究構想発表	研究テーマの独創性、先行研究の適切な調査と位置づけ、研究目的に合致した研究方法、課題の妥当性を評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
16	課題研究構想発表	課題研究テーマの独創性、先行研究の適切な調査と位置づけ、研究目的に合致した研究方法、課題の妥当性を評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
17	研究中間発表	研究テーマの独創性と発展可能性、先行研究の適切な調査と位置づけ、研究目的に合致した研究方法、課題の妥当性、適切な引用や参考文献の記載を評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
18	課題研究中間発表	課題研究テーマの独創性と発展可能性、先行研究の適切な調査と位置づけ、研究目的に合致した研究方法、課題の妥当性、適切な引用や参考文献の記載を評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
19	修士論文概要発表	研究テーマの独創性、先行研究の適切な調査と位置づけ、研究目的に合致した研究方法、課題の妥当性、適切な引用や参考文献の記載、論文作成能力の到達度を評価する。	○	◎	○							研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
20	課題研究報告書概要発表	課題研究テーマの独創性、先行研究の適切な調査と位置づけ、研究目的に合致した研究方法、課題の妥当性、適切な引用や参考文献の記載、課題研究報告書作成能力の到達度を評価する。	○	◎	○							研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
21	修士論文審査	修士論文は、「人文科学研究科大学院課程修了要件」に記載の審査方法と審査基準に基づいて評価する。		◎	○	○						研究科執行部	主査と副査がアセスメントを行う。
22	課題研究報告書審査	課題研究報告書は、「人文科学研究科大学院課程修了要件」に記載の審査方法と審査基準に基づいて評価する。		◎	○	○						研究科執行部	主査と副査がアセスメントを行う。